

J Aはだのは、組合員講座に  
援農のカリキュラムを取り入れ  
た。青年部員の山口哲治さんの  
協力で、収穫や調製作業を用意。  
農家の労力や適正な価格形成に  
ついて考えるきっかけにしても  
らう狙いだ。

チャンス  
シヤツタ!

## 援農で適正な価格に理解

12月17、22の2日間に分かれ、  
んの畑を訪れた。ダイコンの収  
穫を手伝った後、水洗いや袋詰  
めなども体験した。

受講者は「収穫後も手間がか  
かるのが分かった。もっと価格  
に反映してもいいのではないか  
と考えが変わった」と話した。



山口さん⑤にダイコンの洗い方を習う受講者

## 野菜作りの プロが指導

30日から申し込み

J Aはだのは、気軽に野菜作りが楽しめるサポート付きの体験農園「はだのコモンズ体験農園」を開園します。野菜作りのプロによる指導で年間20種類の野菜を栽培します。新鮮で安全・安心な野菜の栽培や収穫を体験してみませんか。

①開園 2026年4月

②区画 全70区画（1区画15平方㍍）、その他に共同区画あり

③利用料金 1区画当たり年6万6000円（税込み）

④所在地 J Aはだの本所敷地に隣接する農地

⑤申し込み 1月30日（金）から、右記QRコードのポータルサイト（<https://had-a-know.jp>）で先着順に受け付け

お問い合わせは、はだの都市農業支援センターまで。  
TEL 081-7800



## 食料安全確保が課題

### 農政の理解深める学習会

J Aはだのは18日、本所で国政学習会を開いた。農政対策委員や生産所事務所西側に「はだのコモンズ体験農園」を開園します。ガストロノミーと、食文化や地域の風土、農業の魅力を総合的に体

さて、本年は、J Aはだのにとって新たな挑戦の年となります。「食×農×表丹沢II『ここに幸あり』」をテーマに「はだのガストロノミー宣言」を行い、4月には本所事務所西側に「はだのコモンズ体験農園」を開園します。ガストロノミーとは、食文化や地域の風土、農業の魅力を総合的に体

り、地域農業の持続的な発展に貢献するため、本年も皆さまと力を合わせて歩んでまいります。

J Aが果たすべき役割はますます大きくなっています。どうぞよろしくお願いします。

### 新年のごあいさつ

昨年も、気候変動や資材価格の高騰、担い手不足など、農業を取り巻く環境は依然として厳しい状況が続きました。しかし、こうした時代だからこそ、J Aはだの運営に協力し、PRする。1月から3月にかけて、花を贈る機会が多い季節。秦野市の花で、気持ちを伝えてみてはいかが。

さつを申し上げます。日頃よりJ Aはだの運営にご尽力いただいている組合員の皆さん、地域の皆さんに心より感謝申し上げます。

この取り組みにより、農業の担い手や消費者、地域住民の垣根を越え、農に関わる人の裾野を広げてまいります。農園では、収穫体験や食育イベント、地元食材を生かした調理体験、地域の伝統文化の継承など、多彩な活動と連携します。これにより、農業の魅力や価値を再発見し、次世代への継承や「はだの市民農業塾」を通じた新たな担い手の育成にもつなげていきたいと考えています。

また、J Aの総合力を生かし、各種事業の積極的な展開による組合員サービスの向上、デジタル化・スマート農業の導入支援、エンゲージメント（組織への貢献意欲や愛着）による人材育成、女性の活躍推進など、多様な人材が輝ける組織づくりにも注力してまいります。

結びに、皆さまのご健康とご多幸、そしてご活躍を心より祈念し、新年のごあいさつといたします。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

## 農に関わる人の裾野を広げよう

代表理事組合長 宮永 均

し、国内の農業政策やJ Aの農政運動などへの理解を深めた。J A神奈川県中央会の職員が「国内農業政策等とJ Aグループの農政活動について」と題して登壇。食料自給率の低迷や自然災害の多発など「食

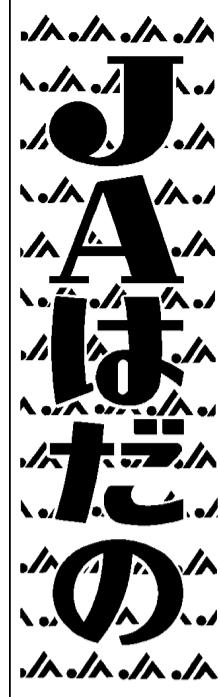
と「農」に関するリスクを説明。農業を取り巻く情勢が不安定化し、国内で食料への懸念が増大して、食料安全保障が国民全体の課題となっていると解説した。J Aは農政運動として、農業現場の声を集めて行政へ要請していることを紹介した。

その後、牧島かれん衆議院議員が国内農業政策などの情勢を報告。輸入への依存が大きな課題となっていることから、国内の自給力を高めて食料自給率を引き上げることが必要だと説いた。



農業政策の状況を学んだ学習会

その後、牧島かれん衆議院議員が国内農業政策などの情勢を報告。輸入への依存が大きな課題となっていることから、国内の自給力を高めて食料自給率を引き上げることが必要だと説いた。



発行  
秦野市農業協同組合  
(神奈川県)  
〒257-0015  
秦野市平沢477  
電話 0463(81)7711(代)  
発行責任者 小島 敏雄  
印刷所 (株)JA情報サービス

### 今月の特集 4~5面

花き部会 秦野産の魅力PR  
花き部会は、良質な花を生産。市の行事に協力し、PRする。1月から3月にかけて、花を贈る機会が多い季節。秦野産の花で、気持ちを伝えてみてはいかが。

新春を迎えて、謹んで新年のごあいさつを申し上げます。日頃よりJ Aはだの運営にご尽力いただいている組合員の皆さん、地域の皆さんに心より感謝申し上げます。

この取り組みにより、農業の担い手や消費者、地域住民の垣根を越え、農に関わる人の裾野を広げてまいります。農園では、収穫体験や食育イベント、地元食材を生かした調理体験、地域の伝統文化の継承など、多彩な活動と連携します。これにより、農業の魅力や価値を再発見し、次世代への継承や「はだの市民農業塾」を通じた新たな担い手の育成にもつなげていきたいと考えています。

この取り組みにより、農業の担い手や消費者、地域住民の垣根を越え、農に関わる人の裾野を広げてまいります。農園では、収穫体験や食育イベント、地元食材を生かした調理体験、地域の伝統文化の継承など、多彩な活動と連携します。これにより、農業の魅力や価値を再発見し、次世代への継承や「はだの市民農業塾」を通じた新たな担い手の育成にもつなげていきたいと考えています。











〈俳句〉(酒井 敏光 選)  
城門のきりつと重し梅探る

園児らのてんでに赤い実千両	高橋 順子(大秦町)
千両を活けて華やぐ大家族	柳川みち子(栄町)
老梅の香に突き当たる極楽寺	佐藤英美子(南矢名)
森高 由子(渡沢)	高島美和子(名古木)
晩年を生き抜く力実千両	吉田 清美(渡沢)
稚さならのままごと遊び実千両	志賀 明子(千村)
植え込みのなかに息すく実千両	石原 松枝(渡沢)
旅宿のステンドグラスと実千両	選者
寒千両真つ赤とも言ふ嘘もある	選者
我の好みは寂蓮の歌	〈短歌〉(久保寺 富男 選)
初春に家族で競う歌留多会	安居院輝雄(上大槻)
私の好みは寂蓮の歌	細田 富士(千村)
評 歌留多とは優雅で懐かしい。「寂しさ	八木 実(鶴巻北)
はその色としもなかりけり楓立つ山の	ビニールに絵を描きたる子らは皆
秋の夕暮れ」であろうか。日本三夕の	頃には新年会と書き込んで
歌で知られるが、同作者には「村雨の	夕暮れ」もある。いずれも百人一首。
露もまだ千ぬ楓の葉に霧立のぼる秋の	歌おのが風持ち蒼空に放つ
夕暮れ」もある。いずれも百人一首。	赤鉛筆で花丸つける
まだ知らぬ僕に会うためノックして	大木かずひろ(名古木)
こことのとびら開けてゆくのだ	石田こじる(水神町)
遠つ代の歴史は女子が始まると	選者
歳返る日の記事を読みます	選者

※選者による添削あり

選者



## 葉ニンニクの和風チャーハン

上支部 諸星 藤枝さん



■材料2人分■  
葉ニンニク1本、ご飯茶わん2杯分、かつお節1パック、サラダ油適量、塩・こしょう少々、しょうゆ適量

### <作り方>

- ①葉ニンニクを小口切りにする。
- ②熱したフライパンにサラダ油を入れ、葉ニンニクを入れる。
- ③②に温めたご飯を入れて炒め、塩・こしょう・かつお節を入れる。最後にしょうゆを鍋肌から回し入れ、香りを付ける。
- <ひとことアドバイス>  
しょうゆの量はお好みで調節してください。

農業従事者の高齢化などにより、農作業中の傷害事故が増えています。2025年度は11月末現在、市内で14件の農業労働災害事故が発生しています。

J A はだのは、農作業

中の事故への備えのため

「農業労働災害保険加入促進運動」を進めていま

す。療養・休業給付から

遺族給付まで手厚い補償

があり、掛け金は金額が

社会保険料控除の対象で

あります。

J A はだのは、農作業

中の事故への備えのため

「農業労働災害保険加入促進運動」を進めていま

す。

この機会にぜひご加入

ください。

◎運動期間 3月13日(金)まで

◎対象者と対象作業

▽特定作業従事者(自

営農業者(兼業農家を含

む)で、年間の農業生産

物販売額が300万円以

上または経営耕地面積2

ha以上の規模で、次の農

業に従事している方。

トラクターなどの農業

機械を使用する作業、2

ha以上の規模で、次の農

業に従事している方。

物販売額が300万円以

上または経営耕地面積2

ha



## 賀詞交歓会で交流 農業の発展誓い合う

JAはだのは、イチゴの買い取り販売に力を入れている。やさい部会いちご部の部員からイチゴを買い取り、じばさんずの他、イオン秦野店、横浜市の「やさいや金次郎」などに出荷。秦野産のイチゴを多くの消費者に届けるとともに、生産者の労力軽減につなげている。

JAはだのは、量販店などにいるため、2022年からイチゴの買い取りを開始する見込み。5月までに1万7000パックを出荷する見込み組み。今シーズンは、にかかる労力を減らす取り組み。今シーズンは、

A担当者(TAC)が販売先との価格交渉や納品する数量の調整などを担うことで、生産者の販売にかかる労力を減らす取り組み。今シーズンは、

# イチゴ買い取り推進

今シーズン1万7000パック



JAはだのは、量販店などにいるため、2022年からイチゴの買い取りを開始する見込み。5月までに1万7000パックを出荷する見込み組み。今シーズンは、にかかる労力を減らす取り組み。今シーズンは、

## 生産者の労力軽減を目指す

した。担い手に出向くJ

A担当者(TAC)が販

売先との価格交渉や納品

する数量の調整などを担

うことで、生産者の販売にかかる労力を減らす取り組み。今シーズンは、

した。担い手に出向くJ

A担当者(TAC)が販

売先との価格交渉や納品

する数量の調整などを担

うことで、生産者の販売にかかる労力を減らす取り組み。今シーズンは、

6日には、部員の北村

彰さんと山口新次さん

が、選果場に「章姫」か

な「こまち」など187パ

ックを持ち寄った。今年

は、夏の暑さで花芽の分

だ。北村さんは「今年から直売をやめて、生産する全てのイチゴをTACに

買い取ってもらうことに

が、イチゴが甘さが乗り

化が遅れたため、例年より出荷の開始が遅れた

TACは「栽培に専念

して良いイチゴを作つて

もらえるよう今後も買

取りに力を入れていく。TACは「栽培に専念

が、イチゴが甘さが乗り

入れている。やさい部会いちご部の部員からイ

チゴを買い取り、じばさんずの他、イオン秦野

店、横浜市の「やさいや金次郎」などに出荷。

秦野産のイチゴを多くの消費者に届けるとともに、生産者の労力軽減につなげている。

JAはだのは、イチゴの買い取り販売に力を入れている。やさい部会いちご部の部員からイ

チゴを買い取り、じばさんずの他、イオン秦野

店、横浜市の「やさいや金次郎」などに出荷。

秦野産のイチゴを多くの消費者に届けるとともに、生産者の労力軽減につなげている。

JAはだのは、イチゴの買い取り販売に力を入れている。やさい部会いちご部の部員からイ

チゴを買い取り、じばさんずの他、イオン秦野

店、横浜市の「やさいや金次郎」などに出荷。

秦野産のイチゴを多くの消費者に届けるとともに、生産者の労力軽減につなげている。



## 縁起物を求める盛況

### 栄養豊富な大寒卵を販売

### 縁起物を求める盛況

じばさんずは20日、店舗外の特設ブースで大寒卵を販売した。栄養豊富な卵を求める多くの来店者でにぎわいを見せた。

鶏は、冬になると餌を多く食べ、産卵数は少なくなるので、その分栄養が豊富な卵が産まれる。

鶏は、冬になると餌を多く食べ、産卵数は少なくなるので、その分栄養が豊富な卵が産まれる。

鶏は、冬になると餌を多く食べ、産卵数は少なくなるので、その分栄養が豊富な卵が産まれる。

じばさんずは20日、店舗外の特設ブースで大寒卵を販売した。栄養豊富な卵を求める多くの来店者でにぎわいを見せた。

鶏は、冬になると餌を多く食べ、産卵数は少なくなるので、その分栄養が豊富な卵が産まれる。

じばさんずは20日、店舗外の特設ブースで大寒卵を販売した。栄養豊富な卵を求める多くの来店者でにぎわいを見せた。

6日には、部員の北村彰さんと山口新次さんが、選果場に「章姫」か「こまち」など187パックを持ち寄った。今年は、夏の暑さで花芽の分

だ。北村さんは「今年から直売をやめて、生産する全てのイチゴをTACに

買い取ってもらうことに

が、イチゴが甘さが乗り

化が遅れたため、例年より出荷の開始が遅れた

TACは「栽培に専念

が、イチゴが甘さが乗り